



野木小だより

平成29年7月19日
— 第4号 —
野木町立野木小学校長
生沼 房子

1学期を無事終了することができました！

7月20日(木)、1学期の終業式を迎えます。4月のスタートから3か月あまり、7月には4年生の新しいお友達を迎え、118名全員が無事1学期を終えることができます。授業日数は71日(1年生は70日)でした。元気で明るい野木小っ子たちの一人一人が、心身ともに大きく成長できたことをうれしく思います。

以下は7月18日現在の状況です。

(矢印は前年との比較)

■児童の交通事故 0件 (→)

ひまわりパトロール隊の皆様や安全見守り協力者の小森芳一様、交通安全母の会や保護者の皆さんによる登下校指導のお陰で、児童は安心して登下校できました。心より感謝申し上げます。

■欠席者数 のべ69人 (↑) (1日平均0.97人)

どんなに暑くても外で遊ぶ児童が多く、休み時間の校庭には元気な声が響いています。児童全員が出席した「欠席0の日」も26日間ありました。素晴らしいことだと思います。

■図書貸出数 のべ1,337冊 (↑)

(1人平均11.3冊)

町で配布された読書ノートをよく活用して、「おすすめの本」読破にも挑戦しています。また、「家読」へのご協力ありがとうございます。

■芸術鑑賞会に来場された地域の方 9名 (↓)

今年はマジックショーを鑑賞しました。日頃お世話になっている地域の皆様にも一緒に楽しんでいただければよかったのですが、PR不足でした。来年度もお待ちしております。

第1回学校評価及び保護者の皆様にお願いました学校行事アンケートにつきましては、後日改めてご報告いたします。

ご協力ありがとうございました。

いじめのない学校を目指して

6月5日(月)、中学校区ごとに「野木町小中学校いじめ撲滅会議」が行われました。野木第二中学校には本校を含む3校の代表が集まり、中学校の生徒会役員を中心に活発な話し合いがなされました。本校からは6年生の代表2名が野木小児童会のいじめ撲滅推進委員として参加しました。



まず、いじめには、暴力など体に直接害を加えるもの

と、言葉などの精神的ダメージを与えるものがあるということを確認しました。続いて、いじめをなくすためにはどうしたらよいかについて話し合い、スローガンや行動目標を決めました。

スローガン：「思いやり

気づいて動こう あなたから」

行動目標 ①まず気づいてみんなで相談する。

②言葉選びを大切にする。

③助ける勇気を持つ。

そしてこのスローガンと行動目標を学校に持ち帰り、児童会の運動として各学級に知らせ、みんなで実践していこうと呼びかけました。

その一環として、6月30日(金)の朝会では「なかよし班ごとに考える朝会」として、班ごとに「相手の心を温かくする言葉(ふわふわことば)」を考えました。行動目標の②に関連する内容です。

短い時間でしたが1年生から6年生までが輪になって考え、「ありがとう」「大丈夫だよ」「気にしなくていいよ」「ドンマイ」「やったね」などの温かい言葉を紙に書き出し、6年生が発表しました。



言葉遣いの荒さによるちょっとした行き違いがいじめに発展することのないよう、一人一人の心がけを見守っていきたいと思います。

5年生 臨海自然教室

一回り大きくなって帰って来ました！

6月21日（水）～23日（金）の2泊3日で、5年生24名が「とちぎ海浜自然の家」（茨城県鉾田市）に行ってきました。

1日目は社会科学習の一環で鹿島製鉄所の見



学をしてから自然の家に到着。2日目は海ならではの活動を楽しみました。

普段マッチを使う経験がない子どもたちが、班ごとに協力しながらかまどで海水を煮詰める体験をした塩づくり、新橋小の5年生と一緒にゲームや砂の造形で交流を楽しんだ砂浜活動など、どれも心に残る活動でした。

その他、自然の家の様々なルールを守り、計



画に沿って時計を見て行動し、部屋のベッドメイキングや掃除なども先生には頼らず自分たちの力で協力してやり遂げる

など、引率職員も驚くほどの立派な活動ぶりでした。

3日目、大洗の水族館に寄ってすべての活動を終えて帰校したときの顔つきは皆、力を出し尽くした満足感でいっぱいでした。

保護者の皆様には送り迎えなどのご協力、感謝いたします。

暑くても楽しんでいきます！「なかよし活動」



本校のなかよし班（1～6年生の縦割りの班）の活動の一つに、昼休みを利用して遊ぶ「なかよし活動」があります。（月1回程度）

年度初めの計画に沿って2班ずつ一緒に中線踏みやへび鬼、ドッジボールなどを楽しんでいます。班の組み合わせは毎回変わります。

「4年生以上は『3年生以下の子を楽しませる』ことを楽しもう」という担当の先生の言葉どおり、上級生は実に優しく遊びをリードし、下級生たちは時間を忘れるほどうれしそうに遊んでいます。これも野木小の自慢の一つです。

ボランティアの皆様に、様々な活動で

大変お世話になっております！

学校生活を様々な側面から支えてくださるボランティアの方々の存在も本校の自慢です。1学期だけでもこんなにたくさんお世話になりました。

【農園活動】

学校農園で、ペアになる2学年ごとにスイカやサツマイモなどの作物を育てています。そのため



のうね作りやわら敷き、ネット張りなどの際に集まってくださるのが田部井さん、小勝さん、島田さん、船橋罔博さん、船橋トモ子さん、勝俣さんたちです。お陰でたくさん収穫できました。

【生活科】

2年生のヨモギ団子作りでは、田口さんにテンポ良く楽しく指導していただきました。保護者の皆さんにも一緒に味わっていただけました。

【社会科】

3年生が学校の周りの見学をした際、れんが窯で説明をしてくださったのが田村さんです。昔の人の暮らしについても教えていただきました。

【家庭科】

初めて針をもつ5年生。4回にわたり保護者（祖母様も含め）の皆さんに手元を見て指導していただき、小物作りまで仕上げることができました。

【総合的な学習の時間・生活科】



5年生の総合と2年生の生活科で、松平さんに水辺の楽校について教えていただきました。2年生はザリガニ釣りも楽しみました。

【読み聞かせ】

今年も読み聞かせサークル「夢ぼけっと」の皆さんにお世話になっております。子どもたちがとても楽しみにしている朝のひとときです。

【ブラッシング指導】



学校歯科医の上原さんから、4年生が指導を受けました。生えかわりが進み、親の手が離れるこの時期が最も虫歯になりやすいそうです。

【その他、運動会前には野木町音頭やラジオ体操の指導などでも多くの方にお世話になりました。】

心より感謝いたします。ありがとうございました。

